

見学会+説明会の御案内

様

早春の候、いかがお過ごしでしょうか

海部観光社員寮として進めてまいりました木造仮設住宅試行がいよいよ完成します。たくさんの方々にお越しいただいた2月20日の上棟見学会につづいて、4月5日、完成見学会+説明会を行います。

東日本大震災では、従来のプレファブ仮設住宅では足りない数の緊急住宅が必要とされ、各県で、地場の設計者、地場の施行者、職人さんによる、地場の材料をつかった木造仮設住宅が数多く建設されました。小さくても住みごちのよい、被災した人々をやさしく包み込む木造住宅は高く評価されています。

地場産業で町を復興することには、被災者の働き口確保、被災した街にお金をまわすこと、ひいては被災地の活性化にもつながるなど、大きな意味があります。大災害への「備え」として、材料の確保、流通の確認、加工、施工の体制を確認などなど、今のうちにしておけることはたくさんあります。植林から育成、伐採、再植林という本来の山のサイクル、伐採した木材を備蓄することで天然乾燥材を確保して市場に廻せるようにすること、良材で地産地消の家を開発して住み継いでいくこと……。各専門領域での大きな流れが健全に廻りはじめれば、大きくは県土全体の活性化にもつながるでしょう。

小さな建築を通して、大きなことが始まれば……

ぜひ足をお運び下さい。

平成24年3月21日

(有)内野設計 内野輝明
海部観光株式会社 打山 昇